

聖書箇所：マタイ28：16～20

タイトル：「大宣教命令を受けて」

テーマ：復活の主は弟子たちに大宣教命令をお与えになった。これは、クリスチャンに対する命令でもある。この命令は「あらゆる国の人々を弟子としなさい」という一点に集約される。これは実現可能な命令か。人々をキリストの弟子とするにはどうしたらよいのか。大宣教命令の中に、また、イエスが弟子たちを訓練された方法の中に弟子づくりの秘訣を見ていこう。

1. 大宣教命令の発せられた状況（28：16、17）

2. 大宣教命令

①大宣教命令をお与えになった根拠（28：18）

②大宣教命令のゴール（28：19）

*あらゆる国の人々を弟子とする

③目的を達成するための方法

*行って

*父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け

*イエスが弟子たちに命じておいたすべてのことを守るように人々を教える

④大宣教命令を実現できる根拠（28：20b）

*世の終わりまでいつもイエスがともにおられる（クリスチャンに聖霊の内住が与えられ、このみ言葉は成就した）

3. イエスにならう弟子づくり（イエスはどのように弟子づくりをされたか）

①公生涯のほとんどを弟子づくりに費やされた

②具体的には

*弟子たちを招かれた *招きに応える人、断る人——まねきに応えた人が弟子となる

*寝食を共に（交わり）

*イエスは御国の福音を宣べ伝えられた（霊的覚醒）

*イエスは教えられた（たましいの養い）

*イエスは数々のみわざを示された（肉体的必要の満たし）

*実際の訓練の例

4. 弟子づくりのための原則

5. 結論

- ①大宣教命令は実現可能な命令である
- ②大宣教命令はイエスをかしらとする共同体（教会）の使命である
- ③この使命はイエスが教えて下さった方法で遂行できる
- ④キリストの弟子をつくる前に、キリストの弟子となる
- ⑤受けてのち与える